

注目の科目

産業社会実習

社会で働く経験を通して、
ビジョンの確立をめざす

就業体験を通じて、自らの職業観や就業意識の確立をめざします。実習前は、職業人として必要なビジネスマナーや知識などを修得。事後は、実習体験を学生同士で共有しながら、自己の就職観や人生観を見つめ直します。

地域社会論

地域社会が抱える
問題について考察していく

過疎化、限界集落、シャッター商店街、中心街空洞化など、地域社会が抱えている問題を理解。そして、その問題がローカルな問題ではなく、社会全体の問題であり、グローバルな問題であることを考察していきます。

公共政策論

政策の立案に必要な
知識と問題解決力を修得

政策作りを現役若手官僚と一緒に考える授業。国や県で政策を立案・実行してきた講師の経験談を通して公務員の実態を学びます。さらに、日本の課題と対応策に関する知識を習得し、学生自ら解決案を作り、レポートにまとめます。

児童・家庭福祉

子どもと家庭にまつわる
課題の解決法を探る

児童家庭福祉の歴史と現状、課題を理解したうえで、子どもと家庭を支援する福祉制度やシステムを学び、解決するための基本的な知識を修得。そのほかに教育現場で活躍できるスクールソーシャルワークについても解説します。

伊勢志摩食材論

食材から地域の食文化の
価値と活用について学ぶ

自然の恵みから得られる伊勢志摩の食材について、その種類や特徴だけでなく、気候や風土、歴史文化といった地域資源との関連性を複合的に学び、地域の食文化の継承とその活用を提案し、実践する力を身に付けます。

リーダーシップ・セミナー

理想とするリーダー像に
必要なものについて学ぶ

現代日本社会学科の各コースの知識を土台として、自ら問題を発見し、分析し、解決策を考えるために必要なリーダーシップについて学びます。テキストとして、ステイブン・コヴィー著『7つの習慣』を使用します。

卒業認定・学位授与方針 卒業までに身に付ける能力

Diploma Policy

1

現代日本の「経営革新」「地域創生」「福祉展開」「文化発信」の4コースについて、基礎的な知識を身に付け、日本の課題を概説できる。

Diploma Policy

2

4コースのいずれかについての専門的な知識を修得し、当該分野に関する日本の課題を論じることができる。

Diploma Policy

3

現代日本における自らが選択した課題の意義を説明し、解決に向けた方策を考えることができる。

Diploma Policy

4

日本の伝統文化に関わる領域で、基本的な作法・技能を体験し、身に付け、その情報を発信できる。

Diploma Policy

5

諸課題に対して、リーダーとして貢献できるだけの倫理観、洞察力、コミュニケーション力、実践力、応用力を有し、制約された条件下においても、その能力を創造的に駆使できる。

最近の主な卒業論文のテーマ

政治経済分野

- モビリティ・マネジメントの将来
- 日本放送協会と民間放送局のこれから
- 少年法の適用年齢について
- 日本における雇用形態の変遷

地域社会分野

- 総合型地域スポーツクラブの在り方についての考察
- クルマ社会における公共交通について
- 釣りを活用した地域活性化
- 伊勢おはらい町の観光防災

社会福祉分野

- 不良行為少年に対する支援～少年サポートセンターに焦点を当てて～
- 発達障がい児童・生徒に対するいじめ対策
- 特別養護老人ホームの職員による高齢者虐待を防ぐには
- 箱庭療法と音楽療法が心身におよぼす効果

伝統文化分野

- 柔道の歴史
- 伊勢市の観光業におけるインバウンド事業の展開
- 聖地巡礼による観光と地域発展
- 西洋神話と日本神話